

第48回 歴史・文化を訪ねる会 例会開催報告

「野田市キッコーマン工場見学、茂木本家美術館巡り」

担当世話人 西長 義方

心配した雨も9:00頃にはあがり、気温はまだ肌寒い3月14日(木) 10:30 東部野田線、野田市駅に会員12名が集合し、例会をスタートしました。

最初はキッコーマン工場を見学、館内の「もの知りしょうゆ館」で15分程映像での説明の後に担当者の案内で30分程の工場見学。ほとんどの行程は、オートメーション化が進んでいるようでした。工場見学の後で12:00~12:45まで工場内の別室にて(暖房がきいていました)ゆっくり昼食。

次は、十二代茂木七左衛門が永年蒐集してきた、近代から現代までの美術品を展示している「茂木本家美術館」の見学(13:00~14:00)学芸委員の説明にて日本を代表する画家の作品や企画展の浮世絵鑑賞、また美術館の建物自体も相当にユニークな造りになっていました。

少し歩いて、江戸時代、上花輪村(現千葉県野田市上花輪)の名主であり醤油醸造を家業としていた(キッコーマン創業家の一つ)高梨兵衛門家の屋敷を保存公開している「上花輪歴史館」を14:10~15:10迄、学芸員の説明を受けながら国指定の名称を見学できました。

(本日の参加者・敬称略) 12名

岩崎正憲、岩田芳秀、宇田川修笹、川股賢三、櫻井 實、白岩仙一、住田勝治、田代 周、藤井弘道、古屋榮三、六角 学、西長義方



*案内担当者に付いて見学スタート



*宮内庁に収める「御用蔵醤油」蔵前で



*工場を後にして「茂木本家美術館」へ



* 茂木本家美術館



* 「上花輪歴史館」



*なんと！敷地内から舟で江戸川を経て江戸まで行けた。

